海外派遣留学生

留学報告書

学部学科：	教養学部　人間環境学科		学年（※留学時）：	2年
留　学　先：	国：	ニュージーランド	大学/機関：	オークランド大学
期　　間：	2024　年　2　月　9　日　～　2024　年　3　月　10　日			
	短期		計　1　ヶ月	

[1] 参加した語学コースの時間数／科目名（受講科目・複数可）

・授業時間数：１日４時間。平日のみ

・科　目　名：General　English

時　間	月	火	水	木	金	土	日
8:15 ～10:15	○	○	○	○	○	Free	Free
10:30～12:30	○	○	○	○	○	Free	Free
12:30～	Free	Free	Free	Free	Free	Free	Free

[2] 授業内容について教えてください。

（クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等）

クラス人数　１８人

国籍割合　　日本人１６人、中国人１人、コロンビア人１人

担当の先生　１限目　イングランド出身　２限目　イスラエル出身

授業方法　　１限目　英文法、発音練習、長文読解、英単語ゲーム

２限目　グループワーク(ディスカッション)、事前に出された課題のプレゼンテーション

使用教材

[3] 課外活動・研修旅行・余暇の過ごし方について教えてください。

課外活動：授業の終わりにみんなでビーチに行ったり、ショッピングに行ったりしました。また週末はホストマザーが友達を呼んで、家でバーベキューを行ったりもしました。

研修旅行：友達とホビトンという有名なロードオブザリングという映画の舞台をモチーフにした場所を訪れました。また、朝早くのツアーであったために前日に近くのホテルに泊まりました。都市部でかつ、港に近いためお洒落なレストランでディナーを楽しめたのも一つの思い出です。

余暇の過ごし方：教会に行く、ビーチでBBQかつ泳ぐ、ショッピング、家ではホストマザーとゲーム、Netflix、犬の散歩

[4] 派遣先でよく使った施設について教えてください。（図書館、学生会館、スポーツ施設等）
スチューデントラウンジ、ボウリング場、ジェラート屋、

[5] 宿舎（寮やホームステイ）での生活について教えてください。

部屋：1部屋＿1＿人で使用
様子： ホストマザー1人(マレーシア出身)、同い年の関西大学の学生1人、自分
合計：3人
・朝、夕食は基本的にみんな揃って食事を行う
・お風呂はシャワーのみ
朝起きてご飯などは、ホストマザーが用意してくれました。しかし、仕事で忙しい場合は自分たちでいつも用意してくれているパンを焼いたり、コーンフレークなどを取って食べたりしてから登校していました。また、時々友達を家に呼んで一緒に食事をすることやバーベキューをしたりもしました。
家には、ホストマザーが2匹の犬を飼っているため、毎日近くのビーチに散歩に出かけました。私の帰りが遅い場合(友達と遊びに行く)は、散歩をしてそのままビーチで家から持参した料理を食べたりもしました。また、ホストマザーには友達が多いため色々な国や話し方が違う人とのコミュニケーションができる為、とても英語の勉強になりました。

[6] 留学中に楽しかったこと、苦労したことを教えてください。

- 楽しかったこと:
  ・ELA と呼ばれる現地で通っていた学校では、日本人以外にも様々な国から英語を学びに来る留学生がたくさんいたので英語を学びながらも多文化について知ることができ、また、様々な日本の大学からの生徒とも関わりがあったのでお互いに切磋琢磨しながら語学力を磨くことができたので良かったです。
  ・オークランドの中心街の町であるブリトマートと呼ばれる場所は、港が近いためフェリーやバス、キックボードなどと言った様々な乗り物に乗ることができるので楽しかったです。また、この季節は夏で暖かいので夜も外の景色を楽しみながら食事を楽しめるのでお洒落でなかなかない経験を味わうことが出来ました。

- 苦労したこと:
  ・最初の一週間ほどは、ホストマザーの家の決まりや暮らしに慣れることが難しかったのが正直な意見です。お風呂や睡眠時間の違いなどにもなれるのには時間がかかりました。また、公衆トイレがニュージーランドには少ないため、お腹が痛くなったりしたときには探すのに苦労しました。そのため、トイレを見つけたら、たとえ行きたくなかったとしても一応行っておくことをお勧めします。
  ・何よりも一番大変だったのはホストマザーとの会話です。最終の週にはかなり耳が慣

れましたが最初はやはり聞き取るのには時間がかかりました。特にアクセントが強かった為何度も聞き返して慣れるように努力しました。

[7] 留学の成果について教えてください

1） 語学力の向上：
もともと話すことには多少の自信がありましたが、この1ヵ月を振り返ってかなり話す能力が向上したのではないかと思います。この留学に参加する生徒の大半が日本人でしたが、私は、家でも学校でも最低限のこと以外は日本語を使わないように意識して生活していたのでかなり早く英単語が思い浮かぶようになりました。学校でも、日本人と話すことは簡単ですが、本人の英語に対する意識によってこの留学の目的は変わってくるのではないかと思いました。

2） 専門知識の向上：
1ヵ月だとそこまで専門知識は身につかないですが、オークランドやその周辺の町やアクティビティなどと言ったものは対外身につきました。また、ニュージーランドの決まりやルールなども知ることが出来ました。

3） 自己成長など
初めは、周りの様子を伺ったりしてあまり話すことが出来ませんでしたが、生活していくにつれて自分に対して自信が持てるようになり、分からないときには店員に聞いたり、場所が分からないときには現地の人に道を聞いたりすることが出来るようになりました。また、帰国後を含めて自信が持てたことによって生活がより楽しく感じるようになりました。

[8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！
ニュージーランドには、様々な人種の人が暮らしているため、自身が思っている以上の発見があるのではないかと思います。そして何より人がやさしいことが留学していた僕が一番感じたことです。初めは誰でも言葉が通じずに悩むことも多いかもしれませんが、必ず最後には留学して良かったなと思える自分に必ずなっているはずです。苦しいことに挑戦してこそこれからの自分に繋がっていくと思うので英語を勉強したい、外国に行ってみたいという方は、是非ニュージーランド留学をお勧めします。

海外派遣留学生

留学報告書

[9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

項目※詳しく記入して下さい	金額（当時の日本円）
渡航費（旅行会社に支払った経費）	約 870,000
授業料以外の諸経費（教材費・課外活動・保険料等）	約 65,000
私生活における諸経費（食費・交通費・洗濯費等）	約 100,000
現地からの奨学金がある場合	0
お土産代や個人的な買い物	約 40,000
その他（SIM カード　　）	約 10,000
留学に関する費用の総額	約 1,085,000

海外派遣留学生

留学報告書